

H 1 5 事業評価中間公表への市民意見検討経過調書

対象事業名	敬老会交付金支給事業	事業CD	T 5 0
担当部課	保健福祉部福祉生活課	部長氏名	棚橋 文男

意見の要旨	最終評価への反映状況	左の理由	関係協議部署
<p>高齢なると出不精になりがちになるので、敬老会に出席して、皆と交流を図ったり、少しでも外に出て、一日でも多く健康で過ごすことができれば、介護の厄介になる期間も少なく済む。介護保険の経費を削減するためにも今後も継続すべきである。</p>	<p>一部反映する。</p>	<p>地域全体で長寿を祝う敬老事業は必要なものではあるが、年々増加する対象者（70歳以上）に対して、実施主体の町内会等が会場確保等開催に苦慮している状況であることから、本事業のあり方を見直す時期に来ております。</p> <p>ご意見の趣旨は否定しませんが、やはり、高齢者クラブなど普段からの交流や活動を通して、健康保持や生きがいを持った生活を過ごすことが大切と考えます。</p>	<p>事業評価会議での検討(1/15)</p> <p>市長・助役ヒアリング(1/28)</p>
<p>敬老会を市主催とし、市内5、6地区に分割して、アリーナやコミュニティセンター等における祝賀イベントにして、飲食を廃止し、また年齢を75才以上に引き上げて、敬老予算を削減し、現在、市が交付している町内会への交付金を廃止すべきだ。</p>	<p>今後の検討事項として反映する。</p>	<p>本事業のあり方については、今後、社会福祉審議会などから色々な意見を頂いて検討していくこととしております。年齢の引上げなど貴重な意見として反映していきます。</p>	